

自己開示に関する基礎的研究(1)*

——聞き手と話し手の問題——

A FUNDAMENTAL STUDY ON SELF-DISCLOSURE(1)
—— SOME PROBLEMS OF RECIPIENT AND SELF-DISCLOSER ——

森 下 高 治
TAKAHARU MORISHITA

問題

人が生きて行く上に最も重要なことは、健康あってこそ充実した社会生活を営むことが出来るということである。自らの健康と社会生活のなかの社会的環境としての人間関係の関わりについて、われわれは先駆的研究として、Berkmann & Syme (1979)の研究をあげることが出来る。かれらは、アメリカのカリフォルニア州で30歳から69歳までの4725名の被験者を得て、9年間にわたるフォローアップ研究を進めた。研究のなかで、社会的環境としての人間関係について、ネットワークという考えをもとに、すなわち、対人関係の拡がりや質から、対人関係の多い人たちは少ない人たちよりも死亡率がかなり低いことを見出している。

現実の社会生活では、結局のところ心身の健康が対人関係、人間関係とかなり関わっていることは上記の結果から明らかである。それならば、その対人関係の基底に焦点をあてねばならないことは言うまでもない。すなわち、その基底は個人、自己(Self)の問題であり、われわれはこの自己の問題に到達する必要がある。

中村(1983)は、自己(Self)についてのこれまでの研究を総括して、次の5つにまとめている。

第1は、自らが自らを対象とした認知過程、すなわち、ここでは自己知覚(Self-Perception)や自己意識(Self-Consciousness)、自覚(Self-Awareness)などの自己研究がまずあげられる。第2は、その過程を経た結果としての自らの特徴についてまとまった姿を描くことができる自己研究、具体的には自己概念(Self-Concept)や自己像(Self-Image)が取り上げられる。

第3は、その姿を価値づけし、自らが満足しうるものか否かを考える。この場合、自尊心(Self-Esteem)や自己評価(Self-Evaluation)が問題とされる。第4は、その姿を外部に伝える行為が発生する。この伝える行為の発生は、自己開示(Self-Disclosure)の問題ならびに自己呈示(Self-Presentation)の問題である。第5は、最終段階として、当然社会的な適応の問題が生じる。これは、独自性(Uniqueness)や個性化(Deindividuation)の問題として取り上げることが出来る。

*平成7年10月 原稿受理
大阪産業大学 経営学部(現 流通科学大学 商学部)

そこで、この5つのなかの社会的適応の問題について、中村は、適応のその前提に自己開示があると捉えている。自己開示、すなわち、自己を表現することが対人関係、人間関係の調整に重要な役割を果たしているとしている。

対人行動と自己

社会生活のなかで、われわれは他者（相手）に対してさまざまな情報をさまざまな手段を使って伝達する。

自己開示（Self-Disclosure）は、Jourard & Lasakow（1958）によって初めて用いられたが、それは、「自己についての心理的、個人的な情報を他者に伝えること、すなわち、自分の諸側面を他者に打ち明けることであり、一般に他者との結合を強める効果をもつ行為性をさしている」。

これからして、特に、自分自身の情報を特定の他者に対して言語を通して伝達する場合に、これを自己開示と言う。要するに、自己開示とは自分のことを人に話すことである。

自己開示に関する研究では、一つは開示される情報の深さの問題がある。例えば、性格のこと、身体のごとは、趣味、ファッションなどに比べると他者に話す場合は、表層的な感じより内面に深く入り込んだ情報とみることが出来る。

二つは、情報の領域・種類の問題がある。例えば、勉強のこと、仕事のこと、金銭のことなど情報の種類・広がり考えられる。また、この内容の深さと広がり、同時に他者（対象）によっても異なってくる。

そこで、深い内容の自己開示、広がりのある領域の自己開示を行なうことは、個人にどのような効果をもたらすのか。また、対人関係で自己開示は、どのような意味を持っているのかを考えることは、意義あることである。

《自己開示のねらい》

自己開示が個人に及ぼす影響は、次の3つが考えられる（榎本，1983；安藤，1990）。

①感情浄化

心理療法の目的の一つは、クライアントが、自分自身の問題や葛藤の中心となっている思考・感情・衝動を、セラピストの援助によってあらわにすることであると言える。これは、自己開示という行動が感情浄化（Catharsis）という働きをもっていることを示している。特に「重要な他者」に対する自己開示は、日常の対人関係において、うっ積する感情を浄化し、その人の精神的健康を促進する。したがって、個人の感情を浄化させる働きは重要な機能の一つである。

②自己明確化

自己開示を行うこと、あるいはそれを予期することは、関連する問題に対する自分の意見や感情をより明確にする働きがあると言うことである。自己開示を行う状況は必ず他者（受け手）が存在することで、開示者が客体的自覚状態を経験する状態である。そのようななか、自分の意見や態度の曖昧さを減少させ、一貫性・統合性を追求する（Wicklund, 1982）。したがって、受け手である他者に自己を開示することで自分自身の考えや態度がより明確になる。

③社会的妥当化

自己開示は他者からなんらかの形で評価がフィードバックされ、また、他者も自己開示を返報する。その結果、それまで気づかなかった自分の側面に気づき、自分と他者の比較を通じて自己評価を行うので自己概念を安定させる役割を果たす。

自己開示の測定

この種の研究では、Jourard & Lasakow (1958) が開示度を測定する調査票 (JSDQ) を初めて用いたが、今日の自己開示研究は、殆どが Jourard の調査票をもとに作成されている。Jourard らが問題とした開示領域は、趣味、身体 (身体や外観)、学校生活 (勉学)、性格、社会観 (意見や態度)、金銭の 6 領域であるが、わが国では、これ以外に加藤 (1977) のように友人関係や異性関係を加えた自己開示の研究がある。

研究 I 話し手と聞き手の関係

方法と手続き

対象)

兵庫県内 A 大学 男子大学生 162 名 女子大学生 64 名 計 226 名。なお、開示対象によっては、同性親友、同性友人は男子 162 名、女子 64 名の計 226 名、異性親友は男子 117 名、女子 43 名の計 160 名、異性友人は男子 136 名、女子 56 名の計 192 名で対象者数が異なる。学年は 1 年生が中心である。

調査時期)

自己開示性および被開示性質問紙は、1994 年 6 月に実施した。

調査内容)

< 自己開示性、被開示性の調査 >

本研究では、自己開示性を測定するために、開示領域は、Jourard ら (1958) の JSDQ のほか、加藤 (1977) や武内 (1982) の研究を参考に「趣味 (関心)」「身体 (身体や外観)」「学校生活 (勉学)」「性格」「社会観 (意見や態度)」「友人関係」「異性関係」「金銭」の計 8 領域、40 項目とする調査票を用いた。各項目について、開示相手である「同性親友」「異性親友」「同性友人」「異性友人」にどの程度自分を打ち明けて話すかの自己開示性、一方、相手が自分自身にどの程度に打ち明けて話しをするかの被開示性を記述させる方法を用いた。

身体…自分の顔をどう思っているかについて (5 項目)

趣味…自分の好きな食べ物、飲食について (5 項目)

学校生活…自分の学校のおもしろい面やつまらない面について (5 項目)

性格…自分の性格上の魅力について (5 項目)

社会観…現在の政治、経済に対する自分の考えについて (5 項目)

友人関係…自分の親しい同性の友達の名前について (5 項目)

異性関係…自分の親しい異性の友達の名前について (5 項目)

金銭…お金を貸していること、借金していることなどの金銭について (5 項目)

自己開示性：あなたは相手（友人）に自分をどの程度打ち明けるか、話しをするかを問題とした。ここでは、開示相手に自分を打ち明ける程度について、Jourard & Lasakow に準じて次の4段階の基準を設定した。

- 1…何も話さない
- 2…話すことは話すがそれほど深く話さない
- 3…十分にくわしく打ち明けて話す
- ×…不正確に述べたりウソをついたりする

なお、対象は「同性親友」「異性親友」「同性友人」「異性友人」とするが、該当者がなしの場合は、いない人の箇所のみを記入せずにおいてもらった。調査票は、末尾に掲載する。

被開示性：相手（友人）はあなたにどの程度話しを打ち明けるか、すなわち、あなたは相手からどの程度話しを聞きますかを問題とし、次の3段階の基準を設定した。

- 1…何も話さない
- 2…話すことは話すがそれほど深く話さない
- 3…十分にくわしく打ち明けて話す

したがって、スコアリングは、自己開示性、被開示性ともに各項目、最高3点から最低1点の範囲である。

なお、被開示性調査票は、不正確に述べたりウソをついたりするかわからないため、回答は敢えて設けなかった。また、被開示の対象は、開示対象と同様、次の4つである。

「同性親友」「異性親友」「同性友人」「異性友人」、さらに、該当者がなしの場合は、いない人の箇所のみを記入せずにおいてもらった。

研究Ⅰのねらいは、次の点を明らかにすることである。

1. 自己開示性（話し手による開示）と被開示性（聞き手に対する開示）との関係について、男女大学生を被験者として、両者の関係を相関係数でもって明らかにする。特に、相手（対象）による差異を取り上げる。
2. 開示性、被開示性の各項目の開示の程度について、領域により、項目により特徴が見い出せるかを対象別に明らかにする。

結果と考察

1-1 自己開示性と被開示性との相関について

開示者は、特定の対象にどのような話題を話しとして出すか、逆にどのような話題を特定の対象から聞くか、ここでは先ず、この両面の関係を明らかにする。

前述の通り、開示領域はJourardら(1958)のほか、加藤(1977)や武内(1982)の研究を参考に、趣味（関心）、身体（身体や外観）、学校生活（勉学）、性格、社会観（意見や態度）、友人関係、異性関係、金銭の計8領域とする。

開示および被開示の対象は、同性親友、異性親友、同性友人、異性友人の4対象とする。

具体的な手続きは、ある特定の対象に対する開示（話し手による開示）と逆の特定の対象からの被験者に対する開示、すなわち、被開示（聞き手に対する開示）の程度を測定し、これら両面を相関係数で算出したところ、表1のような結果が得られた。

表から、各対象ごと相関係数をみると、次の通りである。

同性親友は、.50以上の相関は13項目、.50 -.40は20項目、.40 -.30は7項目、-.30未満はなしと言う結果である。

異性親友は、.50以上の相関は5項目、.50 -.40は17項目、.40 -.30は15項目、-.30未満は3項目、また、同性友人は、.50以上の相関は4項目、.50 -.40は23項目、.40 -.30は13項目、-.30未満はなし、さらに、異性友人は、.50以上の相関は1項目、.50 -.40は11項目、.40 -.30は22項目、-.30未満は、6項目である。

個々の特徴をあげると、4つの対象とも共通な項目は、Q3ファッション、Q10性の悩み－異性友人は4つの対象のなかでは最も低い、Q2同世代の人たちの考え、Q25社会問題－親友に特に高い特徴がみられる。

同性対象のみは、Q16性格上の魅力、Q17性格上の不満、また、親友のみは、Q20喜びや楽しみ、Q40差し迫ってのお金があることがあげられる。

逆に、関係が比較的低い項目は、以下の通りである。

異性親友が、Q2映画、音楽、美術など文化面、Q11学校の話、Q19不安、恐れ、悩みについて、また、異性友人は、Q5余暇の過ごし方、Q6自分の顔、Q7スタイル Q26親しい同性の名前、Q3同性の友達との友情、Q34異性の友達との交際があげられる。

4つの対象のうち、同性親友はQ3、Q10、Q16、Q17、Q20、Q21、Q22、Q25、Q28、Q30、Q31、Q33、Q40の計13項目が.50以上の相関がみられた。

一方、異性友人はQ22の同世代の人たちの考えについてのみ、.50以上の相関が認められた。

表1 自己開示性・被開示性にみる同一質問項目間の相関について

		同性親友	異性親友	同性友人	異性友人
1 好きな食べ物、飲物	1	.3361 **	.3976 **	.4385 **	.4342 **
2 好きな映画、音楽、美術、文学	2	.4447 **	.2873 **	.4087 **	.4207 **
3 関心のあるファッション	3	.5156 **	.5051 **	.4980 **	.4190 **
4 趣味や教養	4	.4808 **	.3216 **	.3664 **	.3648 **
5 余暇の過ごし方	5	.4119 **	.4574 **	.3970 **	.2796 **
6 自分の顔	6	.3969 **	.3745 **	.3772 **	.2881 **
7 自分のスタイル	7	.4169 **	.3514 **	.4452 **	.2979 **
8 健康状態	8	.3579 **	.3950 **	.4127 **	.3682 **
9 体力、運動能力	9	.4898 **	.4108 **	.4191 **	.4728 **
10性の悩み	10	.6212 **	.5509 **	.5173 **	.3912 **
11学校の話題（面白い、つまらない）	11	.4278 **	.2595 **	.4759 **	.3623 **
12クラスの人に対する感情	12	.4705 **	.3927 **	.3359 **	.3943 **
13先生に対する意見	13	.4788 **	.3477 **	.3835 **	.4983 **
14勉強や運動に対する目標や野心	14	.4747 **	.4281 **	.3305 **	.4024 **
15進路や希望	15	.4522 **	.4047 **	.5003 **	.3790 **
16性格上の魅力	16	.5361 **	.3425 **	.5010 **	.3717 **
17性格上の不満	17	.5206 **	.3795 **	.4461 **	.3379 **
18性格に影響を与えた事件、環境	18	.3945 **	.4517 **	.3632 **	.3443 **
19不安、恐れ、悩み	19	.4382 **	.2460 **	.4827 **	.3294 **
20喜びや楽しみ	20	.5490 **	.4377 **	.3672 **	.3785 **
21政治、経済について	21	.5941 **	.4853 **	.4301 **	.4351 **
22同世代の人たちの考えについて	22	.5361 **	.5186 **	.5024 **	.5093 **
23親子関係について	23	.4367 **	.4720 **	.4336 **	.3961 **
24理想とする社会について	24	.4966 **	.4570 **	.4069 **	.4031 **
25社会問題について	25	.5869 **	.6026 **	.4604 **	.4071 **
26同性の親友の名前について	26	.4775 **	.3769 **	.3549 **	.2994 **
27同性の友達の性格、趣味、家庭状況	27	.3427 **	.3232 **	.3458 **	.3323 **
28同性への魅力について	28	.5195 **	.3654 **	.4403 **	.3701 **
29同性の友達との交際	29	.3941 **	.4890 **	.4591 **	.4230 **
30同性の友達との友情に関する悩み	30	.5122 **	.4179 **	.4238 **	.2819 **
31異性の親友の名前について	31	.5180 **	.4573 **	.4249 **	.4057 **
32異性の友達の性格、趣味、家庭状況	32	.4097 **	.3895 **	.3257 **	.3809 **
33異性への魅力について	33	.5780 **	.4531 **	.4119 **	.3803 **
34異性の友達との交際	34	.3836 **	.3835 **	.4194 **	.2817 **
35異性の友達との友情に関する悩み	35	.4503 **	.3884 **	.3356 **	.3598 **
36借金の相手	36	.4380 **	.4220 **	.3973 **	.3633 **
37お金を貸しているか	37	.4594 **	.4448 **	.4017 **	.3043 **
38賭事について	38	.4808 **	.4409 **	.4857 **	.3152 **
39現在の収入源	39	.4473 **	.4920 **	.4411 **	.3255 **
40差し迫ってお金がいること	40	.5442 **	.5382 **	.4486 **	.3241 **

** p < .01

1-2 自己開示性と被開示性の項目別開示状況について

項目別に誰に何が話され、話されていないかを明らかにするため、開示対象別によく話されている項目順にグラフを図1-1-4-4の通り作成した。また、よく話したり、聞いたりする話題を上位3つに限って整理すると、表2のようになる。一方、余り話さない、聞かない話題についてまとめると、表3のようになる。

話し手による自己開示（話しをする内容の分析）について、その特徴をみってみる。

男性：4対象とも、学校の話題が第一

女性：同性親友が異性への魅力、異性親友は喜びや悲しみ、同性友人は学校の話題
異性友人は好きな食べ物、飲物

話し手による自己開示について（話しをしない内容の分析）

男性：同性親友が自分の顔をどう思っているか、異性親友と同性友人は政治、経済の話題、異性友人は誰かにお金を貸しているかの話題

女性：4対象とも誰かにお金を貸しているかの話題

一方、聞き手に対する開示（話しを聞く内容の分析）について、話し手と同じようにその特徴をみってみる。

男性：4対象とも、学校の話題が第一

女性：同性親友が映画、音楽、美術、文学、異性親友、同性友人ならびに異性友人は学校の話題

聞き手による開示（話しを聞かない内容の分析）

男性：同性親友、異性親友および同性友人が借金をしている相手、異性友人は誰かにお金を貸しているかの話題

女性：4対象とも借金をしている相手

これから、話し手の自己開示性（よく話しをする内容）は、男性が4対象ともQ11の学校の話題に対して、女性は同性親友がQ33の異性のこと、異性親友はQ20の喜びや楽しみについて、同性友人がQ11の学校の話題、異性友人はQ1の好きな食べ物と、男女によって話す内容が異なり、男性は社会的要素が強い内容に開示傾向がみられた。これとは逆に、女性は個人的側面に焦点をあてた内容が含まれていた。一方、聞き手の被開示性（よく話しを聞く内容）は、男性は開示性と同様、Q11の学校の話題が4対象とも共通で、最も多い。女性は、同性親友のみがQ2の映画、音楽の話しが第一位で、それ以外の対象は全て学校の話題であった。また、全般には女性の方が男性より開示・被開示の傾向が強く、開示内容においても趣味、学校生活がよく話されたり、聞かれたりしている。逆に、金銭や政治や経済などの社会観は少ないことが認められた。特に、自分自身にとって余り重要でない事柄、差し障りのない話しはよく話されているが、その人自身の内面にふれる事柄は余り開示されていないことがわかった。この結果は、結局のところ、開示の問題には内容の深さがあることを示している。さらに、対象によって開示・被開示度が異なっていることも明らかになった。すなわち、同性親友が大で、次に異性親友、同性友人、最後に異性友人となっている。

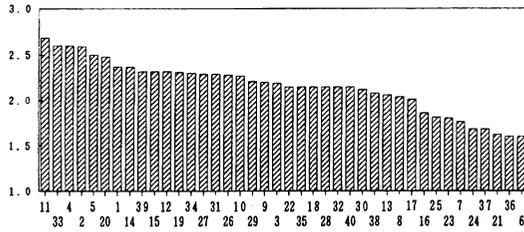


図1-1 男（開示・同性親友）

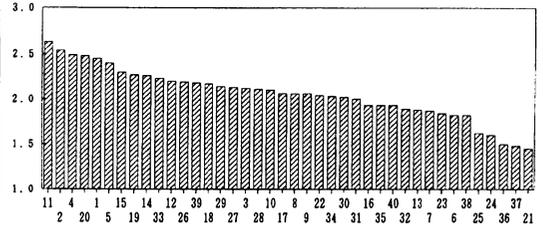


図1-2 男（開示・異性親友）

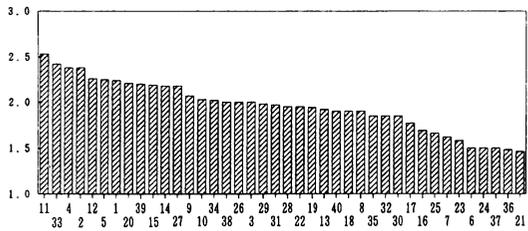


図1-3 女（開示・同性友人）

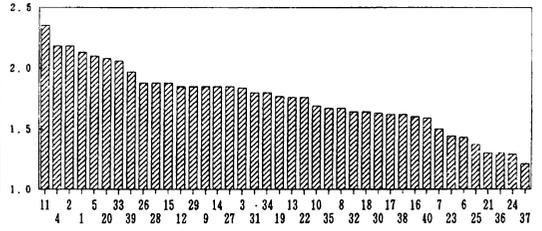


図1-4 男（開示・異性友人）

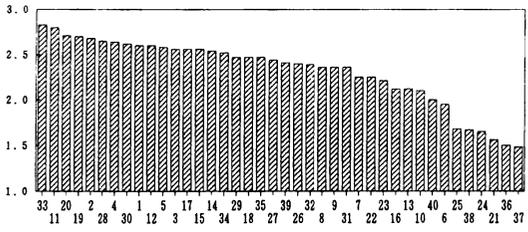


図2-1 女（開示・同性親友）

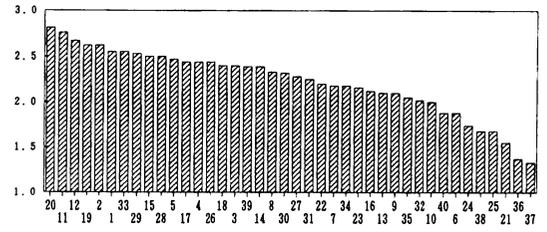


図2-2 女（開示・異性親友）

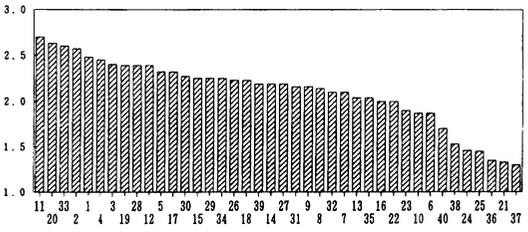


図2-3 女（開示・同性友人）

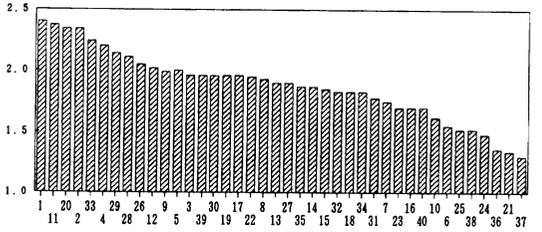


図2-4 男（開示・異性友人）

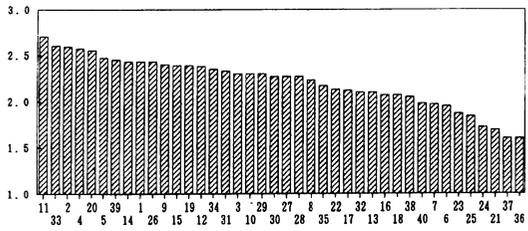


図3-1 男（被開示・同性親友）

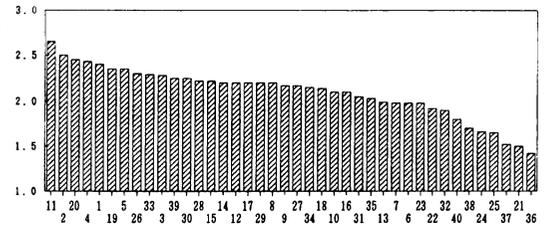


図3-2 男（被開示・異性親友）

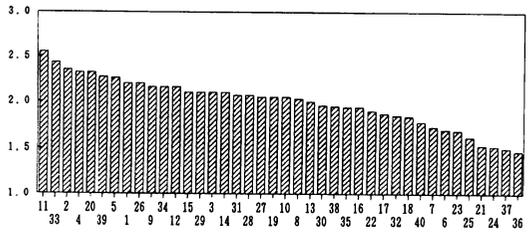


図3-3 男（被開示・同性友人）

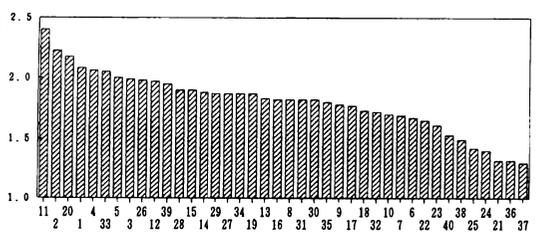


図3-4 男（被開示・異性友人）

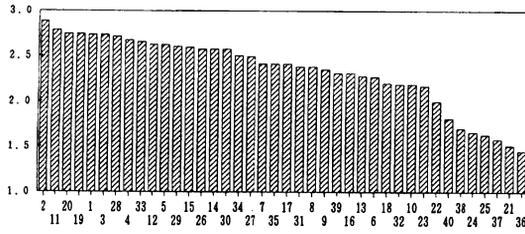


図4-1 女(被開示・同性親友)

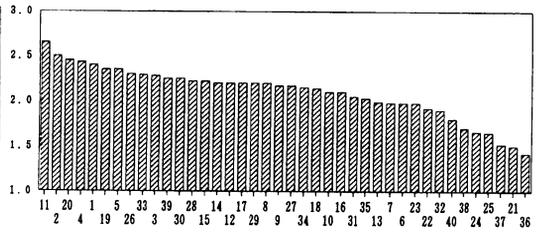


図4-2 女(被開示・異性親友)

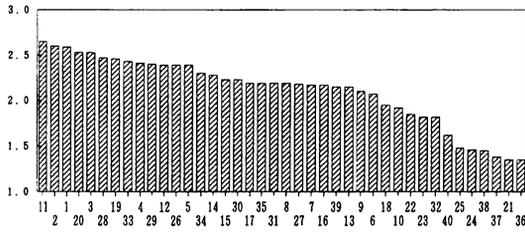


図4-3 女(被開示・同性友人)

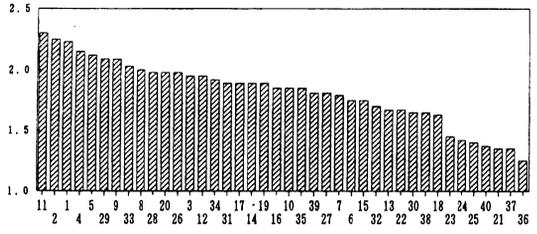


図4-4 女(被開示・異性友人)

表2 よく話しをしたり、聞いたりする話題

話し手	一位	二位	三位
同性親友	11学校 33異性への魅力	33異性への魅力 11学校	4趣味や教養 20喜びや楽しみ
異性親友	11学校 33喜びや楽しみ	2映画、音楽 11学校	4趣味や教養 12クラスの感情
同性友人	11学校 11学校	33異性への魅力 20喜びや楽しみ	4趣味や教養 33異性への魅力
異性友人	11学校 11学校	4趣味や教養 1好きな食べ物	2映画、音楽 20喜びや楽しみ
聞き手	一位	二位	三位
同性親友	11学校 2映画、音楽	33異性への魅力 11学校	2映画、音楽 20喜びや楽しみ
異性親友	11学校 11学校	2映画、音楽 2映画、音楽	20喜びや楽しみ 20喜びや楽しみ
同性友人	11学校 11学校	33異性への魅力 2映画、音楽	2映画、音楽 1好きな食べ物
異性友人	11学校 11学校	2映画、音楽 2映画、音楽	20喜びや楽しみ 1好きな食べ物

上段は男性
下段イタリック体は女性

表3 余り話さない、聞かない話題

話し手	最下位	下位二位	下位三位
同性親友	6顔について 37貸しているか	36借金の相手 36借金の相手	21政治、経済 21政治、経済
異性親友	21政治、経済 37貸しているか	37貸しているか 36借金の相手	36借金の相手 21政治、経済
同性友人	21政治、経済 37貸しているか	36借金の相手 21政治、経済	37貸しているか 36借金の相手
異性友人	37貸しているか 37貸しているか	24理想の社会 21政治、経済	36借金の相手 36借金の相手
聞き手	最下位	下位二位	下位三位
同性親友	36借金の相手 36借金の相手	37貸しているか 21政治、経済	21政治、経済 37貸しているか
異性親友	36借金の相手 36借金の相手	21政治、経済 21政治、経済	37貸しているか 37貸しているか
同性友人	36借金の相手 36借金の相手	37貸しているか 21政治、経済	24理想の社会 37貸しているか
異性友人	37貸しているか 36借金の相手	36借金の相手 37貸しているか	21政治、経済 21政治、経済

上段は男性
下段イタリック体は女性

研究Ⅱ 聞き手に関わる問題

方法と手続き

対象)

大阪府内B大学 男子大学生200名 女子大学生40名 計240名、学年は1年生が中心である。

調査時期)

被開示性質問紙は、1994年6月に実施した。

調査内容)

<被開示性の調査>

本研究では、自己開示性を測定するために、Jourard & Lasakow(1958)が作成した自己開示性質問紙(JSDQ)を、どのくらい開示されるかに変更した小口(1989)の被開示性質問紙(R-JSDQ)を採用した。ここで用いた開示領域は、小口と同じ開示領域で「趣味や関心」「身体(身体や外観)」「学校生活(勉学)」「性格」「社会観(意見や態度)」「金銭」の6領域、各領域は6項目の構成で、末尾に掲載するように計36項目の調査票を用いた。特に、Jourardの話し手を問題にするJSDQを、どれほど開示を受けたかを測定するため、教示ではどれほど話しを聞いたかを尋ね、若干言葉や表現を修正し作成した。被調査者の対象である「同性親友」「異性親友」「同性友人」「異性友人」がどの程度被調査者に自分を打ち明けて話すかを記述させる方法を用いた。

また、R-JSDQと対応させるため聞き手の自己開示の受けやすさを測定するMillerらのオープナー・スケール(1983)を用いた。これら二つの尺度から開示の聞きやすさの個人差の問題を取り上げる。

オープナーとは、親密な自己開示を引き出しやすい人を言う。したがって、オープナー傾向が高い場合は、聞き上手な人と言える。

R-JSDQのスコアリング：6領域、6項目 計36項目 回答は、3件法で2点、1点、0点。

対象は、同性親友、異性親友、同性友人、異性友人の4対象とする。したがって、36項目、4対象の総被開示得点は、最高288点-最低0点となる。1対象では、最高72点-最低0点、また、開示内容の1領域では最高48点-最低0点となる。

OS(オープナー・スケール)のスコアリング：10項目(2要因からなる)で5件法(5点から1点)による。回答は、最高50点-最低10点の範囲である。

研究Ⅱのねらいは、自己開示の聞き手について、以下の点を明らかにすることである。

1. まず、聞き手が開示者からどの程度開示されているか。また、自己開示のされやすさ、聞きやすさの男女における違いを明らかにする。

2. 聞き手のオープナー尺度で測定されるオープナー度とR-JSDQとの関係について、相関係数による分析で両者の関連性を明らかにする。

結果と考察

2-1 被開示量について

表4、図5に男性のR-JSDQの開示対象別、領域別結果を示すが、男性の場合、開示者から開示される全体得点は91.215である。また、男性は、同性の親友から最も多く開示され、異性の友人は最も少ないことが明らかになった。開示内容は、趣味や関心が最も多く開示者から話されており、意見や態度は最も少ない。

表5、図6に女性のR-JSDQの開示対象別、領域別結果を示すが、女性の場合、開示者から開示される全体得点は、124.420である。女性の場合も同性の親友から最も多く開示され、異性の友人は最も少ないことが明らかになった。

また、開示内容は、男性と同様に趣味や関心が最も多く話されているが、逆に最も少ないのは、金銭であった。

表4 (R-JSDQ)の男性の平均と標準偏差

		平均	標準偏差
全体得点		91.215	47.670
開示対象	同性の親友	34.560	14.710
	異性の親友	23.660	17.784
	同性の知人	19.720	13.442
	異性の知人	13.275	12.549
開示内容	意見や態度	11.535	7.740
	趣味や関心	20.370	10.356
	勉強	18.000	9.395
	金銭	11.860	8.769
	性格	16.960	9.911
	身体や外観	12.490	10.082

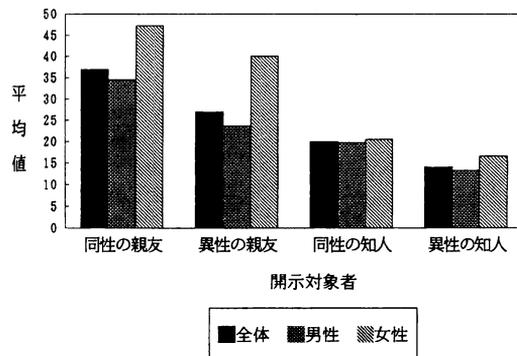


図5 (R-JSDQ)の開示対象者別

表5 (R-JSDQ)の女性の平均と標準偏差

		平均	標準偏差
全体得点		124.420	43.800
開示対象	同性の親友	47.275	12.814
	異性の親友	40.025	16.624
	同性の知人	20.550	14.757
	異性の知人	16.575	13.416
開示内容	意見や態度	15.775	8.886
	趣味や関心	26.650	9.606
	勉強	22.300	7.389
	金銭	13.450	10.346
	性格	25.525	10.464
	身体や外観	20.725	9.126

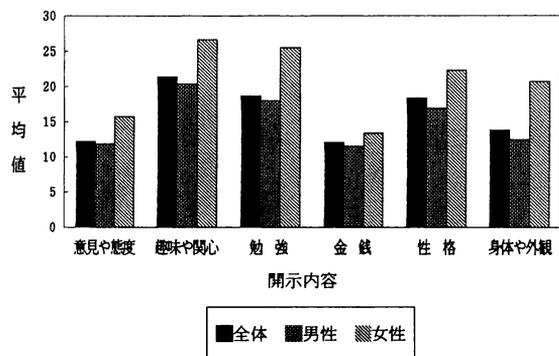


図6 (R-JSDQ)の開示内容別

(全体)		(男性)		(女性)	
1. 趣味や関心	21.416	1. 趣味や関心	20.370	1. 趣味や関心	26.650
2. 勉強	18.716	2. 勉強	18.000	2. 性格	25.525
3. 性格	13.387	3. 性格	16.690	3. 勉強	22.300
4. 身体や外観	13.862	4. 身体や外観	12.490	4. 身体や外観	20.725
5. 意見や態度	12.241	5. 金銭	11.860	5. 意見や態度	15.775
6. 金銭	12.125	6. 意見や態度	11.535	6. 金銭	13.450

次に、男女を一緒に全ての対象を通して被開示量をみると、最も多いのは女性同性親友、次に多いのは女性異性親友である。逆に、最も少ないのは男性異性友人となっている。4対象の男女結果を多い順に示すと、以下のようになる。

女性同性親友>女性異性親友>男性同性親友>男性異性親友>女性同性友人>男性同性友人>女性異性友人>男性異性友人

これから、親友間に焦点をおくと、女性は男性より被開示量が多いことが明らかになった。また、親友の方が友人より、被開示量が多いが、友人間の比較では男女の要因は関係せず、同性友人が異性友人より被開示量が多いと言える。

特に、女性の場合、異性の親友は40.025に対して、異性の友人は16.575である。また、同性の親友は47.275の非常に高い得点を示す。これからして、女性は男性より、気の合う者同士はいつも行動をともし、結びつきが深いものと思われる。

2-2 オープナー（聞き上手）度とR-JSDQとの関係について

Purvisら（1984）は、聞き上手を測定するオープナー・スケールの得点が高い者は、低い者に比べると、肯定的表情が多く、話し手と視線を合わせることが多く、話しに関心を示す会話を表すなど、話し手の開示を促進させる行動があることを明らかにした。

そこで、まず10項目のオープナー・スケールについて、スケールの中身を明らかにするために主因子解、バリマックス回転による因子分析を表6の通り行なった。

その結果、10項目は2因子でもって構成されるが、第一因子はくつろいだ気分になれる、心を開いてくれるなどの項目が含まれるために、小口と同様にこれを“なごませ因子”と名付けた。また、第二因子も聞き上手、素直に受け入れる、人の話を聞くのが好きなどから共感的要素がみられるため“共感因子”と名付けた。なお、1.人から話しをよく聞かされるは、小口の研究では第一因子のなごませの因子に含まれていたが、本研究では、むしろ第二因子の共感因子のなかに見い出された。

これから、第一因子のなごませ因子は、聞き手（受け手）が開示者に能動的に関与する側面が含まれているのに対して、第二因子の共感因子は、開示者を受動的に受け入れている側面が含まれている。

オープナー・スケール

1. まったくあてはまらない
 2. あまりあてはまらない
 3. どちらともいえない
 4. 少しあてはまる
 5. 非常にあてはまる

1. 人からその人自身についての話をよく聞かされる・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 聞き上手だといわれる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 私は他人の言うことを素直に受け入れる・・・・・・・・・・・・・・・・
4. 人は私に秘密を打ち明け信頼してくれる・・・・・・・・・・・・・・・・
5. 人は気楽に心を開いてくれる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
6. 私といると相手はくつろいだ気分になれる・・・・・・・・・・・・・・・・
7. 人の話を聞くのが好きである・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8. 人の悩みを聞くと同情してしまう・・・・・・・・・・・・・・・・
9. 人に何を考えているのか話すように持ちかける・・・・・・・・
10. 私は他人がその人自身の話をしているとき話の腰を折るようなことはしない・・

表6 オープナー・スケールの因子分析結果

項目番号	項 目	第一因子	第二因子	共 通 性
[4]	人は私に秘密を打ち明け信頼してくれる。	.798	.237	.6939
[5]	人は気楽に心を開いてくれる。	.853	.109	.7396
[6]	私といると相手はくつろいだ気分になれる。	.720	.028	.5201
[9]	人に何を考えているのか話すようにもちかける。	.405	.328	.2723
[1]	人からその人自身についての話をよく聞かされる。	.210	.606	.4118
[2]	聞き上手だといわれる。	.145	.663	.4613
[3]	私は他人の言うことを素直に受け入れる。	.077	.458	.2162
[7]	人の話を聞くのが好きである。	.215	.513	.3107
[8]	人の悩みを聞くと同情してしまう。	.374	.527	.4182
[10]	私は他人がその人自身の話をしているとき話の腰を折るようなことはしない。	.077	.568	.3289
固有値		3.156	1.217	
累積寄与率 (%)		31.56	43.73	

次に、オープナー・スケールの平均値の結果を表7、図7に示す。10項目について、被験者がどの程度自分にあてはまるか、また、あてはまらないかを求めたところ、特に、あてはまるに回答が高いのは、男性では7.人の話しを聞くのが好き、8.悩みを聞くと同情する、10.話しの腰を折るようなことはしないである。一方、女性では7.人の話しを聞くのが好き、1.人の話しをよく聞かされる、8.悩みを聞くと同情するの項目である。特に、男女とも共感因子に含まれる項目が高く、7.人の話しを聞くのが好きの項目が最も高い。

表7 オープナー・スケール項目別の平均と標準偏差

	全 体		男性	女性
	平均	標準偏差	平均	平均
(1)	3.350	0.997	3.220	4.000
(2)	3.083	0.979	3.035	3.325
(3)	3.304	1.001	3.235	3.650
(4)	3.383	0.900	3.310	3.750
(5)	3.375	0.827	3.320	3.650
(6)	3.125	0.786	3.150	3.000
(7)	3.795	0.901	3.745	4.050
(8)	3.525	0.978	3.465	3.825
(9)	3.054	0.931	2.950	3.575
(10)	3.400	1.036	3.400	3.400

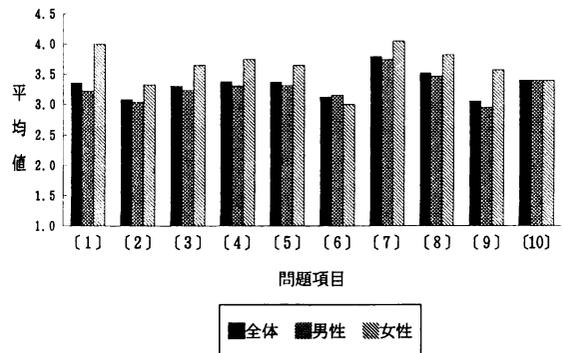


図7 オープナーの全体・男性・女性の
問題項目別の平均点

さらに、表8に示すように両者の相関係数を求めたところ、オープナー・スケールとR-J SDQでは $R = .168$ から $R = .405$ の相関であった。

オープナー・スケール総得点とR-JSDQ総得点の相関は、 $R = .333$ 、なごませ因子とR-JSDQ総得点の相関は、 $R = .343$ 、共感因子とR-JSDQ総得点の相関は、 $R = .244$ であった。これから、オープナー・スケールのなごませ因子の方が共感因子より、被開示性(R-JSDQ)、すなわち、話しを聞くこととは結びつきが強いことが明らかになった。

その説明として、なごませ因子は、他者から尊敬され、賞賛されることを望み、また、無視されることを恐れる面があるが、そのために人に不快感を与えないように、あるいは取り入れようとするため好意的に自己を開示するように思われる。

表8 オープナー・スケールと(R-JSDQ)の相関係数

	R-JSDQの 総得点	同性親友	異性親友	同性知人	異性知人
オープナー・ スケール	0.333 ***	0.405 ***	0.351 ***	0.092	0.177 ***
[なごませ] 因子	0.343 ***	0.374 ***	0.326 ***	0.154 **	0.221 ***
[共 感] 因子	0.244 ***	0.329 ***	0.282 ***	0.023	0.102 *

	意見態度	趣味関心	勉強	金銭	性格	身体外観
オープナー・ スケール	0.343 ***	0.348 ***	0.239 ***	0.168 **	0.259 ***	0.318 ***
[なごませ] 因子	0.351 ***	0.333 ***	0.222 ***	0.231 ***	0.253 ***	0.340 ***
[共 感] 因子	0.253 ***	0.274 ***	0.192 ***	0.081	0.200 ***	0.223 ***

(N=240: * $p < .10$, ** $p < .05$, *** $p < .01$)

まとめ

自己開示の研究は、わが国では1980年頃から活発に研究が行なわれてきたが、本研究は、これまでの研究を踏まえつつ、再度、自己開示に関わる諸問題を洗いだすため基礎的研究に取り組んだ。ここでは、特に開示をする話し手、逆の開示を受ける聞き手に関わる問題について、大学生を被験者としてその基本的なところを明らかにすることを目的とした。

研究Ⅰでは、1. 自己開示性（話し手による開示）と被開示性（聞き手に対する開示）との関係について、両者の関係を相関係数でもって明らかにした。

その結果、同性親友は、40項目のうち開示・被開示の関係が深い項目、すなわち、話しをしたり、聞いたりする項目が、.50の相関以上が13項目と最も多く見出された。

一方、異性友人は、22の同世代の人たちの考えやそれについての自分の考えがわずか1項目のみお互いに話しをしたり、聞いたりする事柄であった。

4つの対象とも比較的高い相関がみられた共通な項目は、Q3ファッション、Q10性の悩み、Q2同世代の人たちの考え、Q25社会問題であった。同性対象のみは、Q16性格上の魅力、Q17性格上の不満、また、親友のみは、Q20喜びや悲しみ、Q40差し迫ってのお金のいることがあげられた。

したがって、対象により、内容により開示・被開示の関係が異なることが認められた。

2. 開示性、被開示性の各項目の開示の程度について、領域により、項目により特徴が見い出せるかを対象別に明らかにした。

全般には女性の方が男性より開示・被開示の傾向が強く、また、開示内容においても趣味、学校生活がよく話されたり、聞かれたりしていた。逆に、金銭や政治や経済などの社会観は少ないことが認められた。特に、差し障りのない話しはよく話されているが、その人自身の内面の問題は余り開示されていないことがわかった。さらに、対象によって開示・被開示度が異なっていることも明らかになった。すなわち、同性親友が大で、次に異性親友、同性友人、最後に異性友人となっていることがわかった。

研究Ⅱでは、自己開示の聞き手に焦点を絞って、1. 聞き手が開示者からどの程度開示されているか。また、自己開示のされやすさ、聞きやすさの男女における違いを明らかにした。

開示対象別、領域別の分析結果から、男性は、同性の親友から最も多く開示され、異性の友人は最も少ないことが明らかになった。開示内容は、趣味や関心が最も多く開示者から話されており、意見や態度は最も少なかった。

一方、女性の場合も同性の親友から最も多く開示され、異性の友人は最も少ないことが明らかになった。また、開示内容は、男性と同様に趣味や関心が最も多く話されているが、逆に最も少ないのは、金銭であった。

2. 聞き手のオープナー尺度で測定されるオープナー度とR-JSDQとの関係について、相関係数による分析で両者の関連性を明らかにした。

オープナー・スケール総得点とR-JSDQ総得点の相関は、 $R = .333$ 、なごませ因子とR-JSDQ総得点の相関は、 $R = .343$ 、共感因子とR-JSDQ総得点の相関は、 $R = .244$ であった。

これから、オープナー・スケールのなごませ因子の方が共感因子より、被開示性(R-JSDQ)、すなわち、話を聞くこととは結びつきが強いことが明らかになった。

文献

- 安藤清志 1990 対人行動の心理学 誠信書房
- Berkman, L. F., & Syme, S. L. 1979 Social networks, host resistance, and mortality: A nine-year follow-up study of Alameda county residents. *American Journal of Epidemiology*, 109, 186-204.
- 榎本博明 1983 対人関係を規定する要因としての自己開示研究 心理学評論, 26, 148-164.
- 榎本博明 1987 青年期(大学生)における自己開示性とその性差について 心理学研究, 58, 91-97.
- Jourard, S. M., & Lasakow, P. 1958 Some factors in self-disclosure. *Journal of Abnormal and Social Psychology*, 56, 91-98.
- Jourard, S. M. (岡堂哲雄訳) 1974 透明なる自己 誠信書房
- 加藤隆勝 1977 心理学モノグラフ14 青年期における自己意識の構造 東京大学出版会
- 森下高治 1995 自己開示に関する研究(1) -聞き手と話し手の問題- 日本応用心理学会第62回大会論文集 共立女子大学
- 中村雅彦 1984 自己開示の対人魅力に及ぼす効果 心理学研究, 55, 131-137.
- 中村雅彦 1986 自己開示の対人魅力に及ぼす効果(3) 心理学研究, 57, 13-19.
- 小口孝司 1989 自己開示の受け手に関する研究 応用社会学研究, 31, 49-64.
- 小口孝司 1989 開示者のパーソナリティについての開示者・受け手による判断の一致度と自己開示動機との関係について 心理学研究, 60, 224-230.
- 小口孝司 1990 自己開示動機に関する基礎的研究 心理学研究, 15, 29-38.
- 小口孝司 1990 聞き手の”聞き上手さ”・”口の軽さ”が開示者の好意・開示に及ぼす効果 心理学研究, 61, 147-154.
- Purvis, J. A., Dabbs, J. M. Jr., & Hopper, C. H. 1984 The "opener": Skilled user of facial expression and speech pattern. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 10, 61-66.
- 竹内信子 1982 女子大学生における自己開放性の特徴と性格類型による検討 ノートルダム清心女子大学紀要, 6, 29-37.

<Appendix>

自己開示調査票

あなたは、友人に、以下の事柄について、どの程度自分を打ち明けて話しますか。
 あてはまる欄に友人の名前のイニシャルを記入して、回答を、次の基準に従って、質問右の各欄に
 数字または符号で記入してください。

- 1・・・何も話さない。
- 2・・・話すことは話すそれほど深く話さない。
- 3・・・十分詳しく話す。
- ×・・・不正確に述べたり嘘をついたりする。

- 注意 (1) 該当する人物がない場合には、その欄に記入する必要はありません。
 (2) 対象となる友人は最も親しい同性の友人（以後、同性親友と略す）と異性の友人と一般的同性の友人（以後、同性友人と略す）と異性の友人です。
 (3) 最も親しい異性の友人には恋人も含まれます。

	同性親友	異性親友	同性友人	異性友人
イニシャル				
例. 自分の顔をどう思っているかについて.....	1	2	1	3
1. 自分の好きな食べ物、飲物について				
2. 自分の好きな映画、音楽、美術、文学について.....				
3. 自分の関心のあるファッションについて.....				
4. 自分の趣味や教養について.....				
5. 自分の余暇の過ごし方について.....				

同性親友
異性親友
同性友人
異性友人

6. 自分の顔をどう思っているかについて

--	--	--	--

7. 自分のスタイルをどう思っているかについて

--	--	--	--

8. 自分の健康状態について

--	--	--	--

9. 自分の体力、運動能力について

--	--	--	--

10. 自分の性について

--	--	--	--

11. 自分の学校のおもしろいことやつまらないことについて

--	--	--	--

12. クラスの人に対する自分の感情について

--	--	--	--

13. 大学の先生に対する自分の意見について

--	--	--	--

14. 自分の現在における勉強や運動での、目標や野心について

--	--	--	--

15. 自分の将来の進路や希望について

--	--	--	--

16. 自分の性格上の魅力について

--	--	--	--

17. 自分の性格上の不満について

--	--	--	--

18. 自分の性格に影響を与えてくれた事件や環境について

--	--	--	--

19. 自分の現在の不安、恐れ、悩みについて

--	--	--	--

20. 自分の現在の喜びについて

--	--	--	--

21. 現在の政治、経済に対する自分の考えかたについて

--	--	--	--

22. 同世代の人たちの考えや、それについての自分の考えについて

--	--	--	--

23. 親子関係のあり方について

--	--	--	--

24. 自分の理想とする社会について

--	--	--	--

25. 現在の社会問題（例えば学歴社会）に対する自分の考えについて

--	--	--	--

同性親友
異性親友
同性友人
異性友人

26. 自分の親しい同性の名前について.....

--	--	--	--

27. 同性の友人の性格、趣味、家庭状況などについて.....

--	--	--	--

28. どんな同性について魅力を感じるかについて.....

--	--	--	--

29. 同性の友達とどんなつき合いをしているかについて.....

--	--	--	--

30. 同性の友達との友情に関する悩み、不安について.....

--	--	--	--

31. 自分の親しい異性の友達の名前について.....

--	--	--	--

32. 異性の友達の性格、趣味、家庭状況などについて.....

--	--	--	--

33. どんな異性について魅力を感じるかについて.....

--	--	--	--

34. 異性の友達とどんなつき合いをしているかについて.....

--	--	--	--

35. 異性の友達との友情に関する悩み、不安について.....

--	--	--	--

36. 過去、現在において自分が借金している相手について.....

--	--	--	--

37. 今、誰かにお金を貸しているかどうかについて.....

--	--	--	--

38. 賭事をするかどうかについて.....

--	--	--	--

39. 現在の収入源について.....

--	--	--	--

40. 差し迫ってお金のいることについて.....

--	--	--	--

R-JSDQ 調査票

同性親友、異性親友、同性友人および異性友人の各対象ごと、友人はあなたに以下の事柄について、どの程度打ち明けて話してくれますか。

0点 相手はなにも話さない

1点 相手は少しだけ話す

2点 相手は十分に詳しく話す

- 意見や態度・・・・・・・・
1. 宗教について考えていることや感じていること
 2. 今の政府についての見解 首相やその政策について
 3. 性道德についての意見
 4. 女性の魅力や美しさについて
 5. 男性に求めるもの、必要なものについて
 6. 親はいかに子供に接するべきかについての意見

- 趣味や関心・・・・・・・・
7. 好きな食べ物や飲み物、嫌いな食べ物や飲み物について
 8. 好きな音楽、嫌いな音楽について
 9. 読書の好みについて
 10. 衣服の好みについて
 11. 余暇の過ごし方について
 12. クリスマスプレゼントについて

- 勉 学・・・・・・・・
13. 履修している課目について
 14. 試験勉強を納得いくまでやりとげることができない自分の欠点や事情などについて
 15. 自分の勉強に対して自信を持っているところと、持っていないところについて
 16. 自分の学業成績について
 17. 自分の就職について
 18. 将来の自分の仕事や目標や希望について

- 金 銭・・・・・・・・
19. 現在自分が借金をしている相手は誰か、過去には、誰から借りたことがあるかなどについて
 20. 誰かにお金を貸しているか。あれば、その氏名や金額など
 21. 賭事について
 22. 現在の収入源について
 23. 差し迫ってお金のいることについて
 24. 貯金も含めた経済状態について

- 性 格・・・・・・・・
25. 自分の性格の中で、自分が嫌いな部分について
 26. 自分でうまく表現できないとか、統制できないとか思えるような感情があるかについて
 27. 罪や恥の感情を抱いた経験について
 28. 非常に腹の立つような出来事について
 29. 深く感情を傷つけるような出来事について
 30. 自尊心を満足させ、誇りに思えるような出来事について

- 身体や外観・・・・・・・・
31. 自分の顔立ちで好きな部分や気に入らない部分について
 32. 顔立ち以外の身体各部についての自分の感じー脚・バスト・ウエスト・ヒップ・体重などについて
 33. 今までに気にやんだことのある容姿に関する問題について
 34. 健康について
 35. 健康や美容のために何か特別な事をやっているかについて
 36. 性についての悩み、性的関係の相手などについて